

フォトボイス  
PhotoVoice (写真と声)  
展示とワークショップ

2018 年度国立女性教育会館  
男女共同参画推進フォーラム

## 被災した女性の フォトボイスを通して —東日本大震災から 8 年目の現状と課題

主催：NPO 法人フォトボイス・プロジェクト TEL.080-4331-4041 <http://photovoice.jp>

フォトボイス (写真と「声」) は、被災後 (避難後) の生活や心情、地域や社会の課題を撮影し、写真を持ち寄って小グループでスクリーンに投影した写真を見ながら、撮ったきっかけやその時の気持ちや背景などを、語り伝え合います。写真と共に社会に伝えたいメッセージ (声) もつくりま



後ろ姿 撮影 snowy

ワークショップ 撮影者と災害を語り合う

8月31日 (金) 15:30  
~17:30

研修棟 2階 206 資料代300円

プレゼンター：

snowy さん (福島県中通りから東京に避難)  
ゆき さん (福島県郡山市)

自分の写真と「声」を紹介しながら、被災や避難の経験、現状と今後の課題を提起。参加の皆さんと共に考えます。フォトボイスとはどのようなものか、手法の紹介もします (湯前知子 フォトボイス・プロジェクト共同代表)。

## 展 示

8月30日 (木) ~  
9月1日 (土)

研修棟 2階展示コーナー

被災各地・東京のフォトボイスグループのメンバーの写真と声です。東日本大震災と男女共同参画の一端も展示します。



一番にぎやかだった仮設住宅 撮影ゆき

\*\*\*\*\*

NPO 法人フォトボイス・プロジェクトは、発災直後から被災地各地においてフォトボイスのグループを開催してきました。現在、郡山市・福島市 (福島県)、仙台市・石巻市・女川町 (宮城県)、宮古市 (岩手県)、東京などに7グループあります。訓練をうけたファシリテーター (進行役) によって、できるだけ安心して本音を語れる場、メンバー同士の相互交流の場として7年余り続き、継続中です。写真と声をパネル化して展示、撮影者と語り合う会、写真と声集 1, 2 (竹村和子フェミニズム基金助成) の発行、国立女性教育会館の「災害復興支援アーカイブ」などで発信しています。月刊『We Learn』(ウィラーン) (公益財団法人 日本女性学習財団発行) でも連載中。

\* このワークショップと展示は、公益信託オラクル有志の会ボランティア基金の助成を受けています。